~DV被害の実態を考える~

生活費も渡してもらえないよう 隠していたんです。 子どもの面倒は見てくれ にな

## 被害の実態

Aさん 元夫から数年 ませんでしたし、「私が我慢をす いんだ」と思っていました。 元夫から数年間、暴力を受けて 当時は、仕事も

**Aさん** まったくなかったです。でも、時はずっとそう考えていたと思います。時はずっとそう考えていたと思います。 した。文句を言われることや殴られるの ら反対だ」などと、罵声を浴びせられま ちばん悪い」「離婚には世間体があるか いろいろなことで「お前が悪いんだ」 殴られる行為が、DVであると 元夫の親からも「あんたが 悪いから…と当

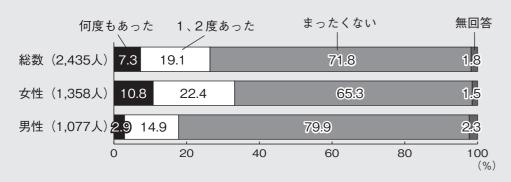
ました。周囲の皆さんも、私のようすが先生が子どもの変化に気づいてくださいなってきたという状況の中で、保育園のて、話にもならず、子どもも元気がなく だんだんと暴力もエスカレー そのときは言い出せず「いいえ」と答えと声をかけてくださいました。それでも、 おかしいことに気づき「何かあったの」 してき でも、

> たりもしましたね。悪口を吹き込んでいるんだろう」 た。でも、そうなると今度は「お前が俺の しだいに父親とは口をきかなくなりまし 子どもも いつもおびえていましたから、

## ●配偶者からの被害経験

な

「身体的暴行|「心理的攻撃|「性的強要」のいずれかを1つでも受けたことがある



※内閣府「男女間における暴力に関する調査(平成20年)」

元夫

林さん 向けた話し合いをするようになりました。結局、お互いに第三者を立てて、離婚に けました。消費者金融などからの借金もあ の知人からのいやがらせなども何十回と受 ありました。 るようでしたし、 何度か話し合いの場を作ってもらいまし くさんの被害を受けました。それに、 ったこともあったようでしたが、 た。元夫も暴力をふるう行為を直そうと思 本当にいろ いろなことが 結局はた

れていました。 夫が妻に対してふるう身体的暴力と理解さ この問題に対する関心や理解が DVの概念も広くなり

自分には言い聞かせていたと思います。 子どもにとってはいちばん幸せなんだ」と、 思いながらも、「父親と母親がいる生活が づかってくださり、「しばらく離れて暮ら そんな中、 っしょに暮らして 周囲の皆さんがいろいろと気 いてつら

相談員 別居しながら話し合いをするようになりま した。 してみては」というアドバイスを 話し合いをするときも、 暴力など いただき、

**Aさん** はい。知り合いにお世話になって、はあったのですか。

ったと思います。DVは、かつて家庭内で、DVを受けていたのですね。とてもつらか Aさんは、さまざまなかたちで 離婚に

暴力だけでなく、大声でどなる、「誰のお現在では、殴るけるなどの直接的な身体的深まるにつれて、DVの概念も広くなり、

